令和３年３月４日	
資料提供	
担当課	医務課
担当者	川端、安居
電　話	073-441-2604　内線 2604

令和２年度救急医療功労者及び産科医療功労者に対する厚生労働大臣表彰について

長年にわたり、地域の救急医療、産科医療の確保及び推進に貢献した個人、団体に対し、厚生労働大臣が功績をたたえる救急医療功労者厚生労働大臣表彰及び産科医療功労者厚生労働大臣表彰について、以下のとおり受賞者が決定しました。

なお、表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催されません。

○受賞者

救急医療功労者厚生労働大臣表彰

受賞者（団体）

《団体名》　一般社団法人　日高医師会

（いっぱんしゃだんほうじん　ひだかいしかい）

《所在地》　御坊市

産科医療功労者厚生労働大臣表彰

受賞者（個人）

《氏名・年齢》　神前　禎宏（こうざき　さだひろ）　５９歳

《住　所》　和歌山市

《所属・役職》　医療法人アイ・ウィルこうざき産婦人科　理事長

○受賞者の主な功績

救急医療功労者厚生労働大臣表彰

受賞者：一般社団法人　日高医師会
平成６年６月から御坊広域休日急患診療所において、休日の救急医療に従事し、初期救急医療体制の確保に尽力してきた。その後、地域住民のニーズに基づき、地域の中核自治体病院において、平成２０年２月から小児科医による病診連携急患診療室を土曜日の時間外に開設、平成２１年４月には小児科医以外も加わり、病診連携休日急患診療室を新設し、病診連携による休日（土・日を含む）の初期救急から入院までの切れ目のない救急医療体制整備に取り組んできた。 また、救急医療週間における積極的な啓発活動や「子どもの救急ガイドブック」の編集にも携わるなど、地域における救急医療の確保、救急医療体制の整備推進に多大なる貢献をしてきた。

産科医療功労者厚生労働大臣表彰

受賞者：神前　禎宏
病院勤務医として約１０年間、産科診療・不妊症治療・婦人科良性腫瘍の手術・婦人科悪性腫瘍の手術や免疫療法・化学療法などを担当し、平成９年１２月医療法人アイ・ウィルこうざき産婦人科を開設した。地域でお産を取り扱う施設として信頼され、１万人以上の赤ちゃんを取り上げ、病院勤務医の頃から現在に至るまで主治医として分娩に立ち会った数は、延べ 14,000 件以上になる。 これまで、妊産婦を第一に考えた診療体制を構築し、地域に根差し、妊産婦から信頼される診療所として、地域の産科医療の確保に多大な貢献をしてきた。

＜参考＞表彰の概要

救急医療功労者厚生労働大臣表彰

厚生労働大臣が、都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した個人や団体の功績をたたえるもの。

（令和２年度は、個人２３名、１５団体を表彰）

産科医療功労者厚生労働大臣表彰

厚生労働大臣が、都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた個人や団体の功績をたたえるもの。

（令和２年度は、個人３８名、４団体を表彰）